

はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、各地に甚大な被害を与えました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

この未曾有の震災を受け、本市では、義援金の募集や応援職員の派遣など、市をあげて復興支援を行っているところです。



さらに、大規模停電を防ぐため、6月から9月までの間、常時15%の電力削減をめざし、公共施設の開館時間の見直しや、市内各施設での電灯や電気の間引き等により、節電の取り組みを実施しました。

節電や省エネルギーは、近年問題となっている地球温暖化対策としても大変重要な取り組みとなります。そこで、23年3月、市民・事業者・行政の協働による温暖化対策を進めるため「八王子市温暖化防止センター」を開設しました。今後、このセンターを中心に普及・啓発を図っていきます。

また、本市では環境保全の一環として、ごみの減量と資源化に積極的に取り組んでおり、22年10月から、不燃ごみの約60%を占めていたプラスチックの資源物としての回収品目を拡大し、合わせて資源物の戸別回収を実施しました。回収したプラスチックは、戸吹町に建設したプラスチック資源化センターで中間処理を行い、その後リサイクルされることにより、大幅なごみの減量をすることができます。更なるごみの減量に向け、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いします。

将来の子どもたちが、安全で安心して生活できる環境を引き継いでいくためには、市民の皆様一人ひとりの取り組みが必要となってきます。

この「八王子市環境白書 2011」では、本市の環境の現状と、市民・事業者との協働により進めてきた環境への取り組みをまとめています。この白書を今後の環境保全への取り組みに役立てていただければ幸いです。

平成23年10月

八王子市長 黒須隆一